

スペイン語会話Ⅶ

科目ナンバリング SPA-307

必修 1単位

プラスハローイネ

1. 授業の概要(ねらい)

この授業の目的は、できるだけ流暢なスペイン語会話能力を身につけることにある。授業の方法としては、日常的によく使われる会話表現の練習と、テーマを決めて、そのテーマについての口頭表現の練習、およびその基本となる作文の練習で進行する。

2. 授業の到達目標

日常的な会話能力の習得にとどまらず、様々な分野のニュースや社会における出来事について正確に聞き取り、またそれを正しいスペイン語で書く能力をも身につける。さらにはそれらのテーマについてスペイン語で討論することのできるレベルを目指す。セルバンテス文化センター検定試験の「B1」レベル合格を目標とする。

3. 成績評価の方法および基準

平常点評価	30%
オラル試験	30%
ペーパー試験	40%

4. 教科書・参考文献

教科書

Sandroa Garcia

Ana Maria de Vargas PRISMA Edi numen

5. 準備学習の内容

事前学習として単語の下調べと作文課題の予習、事後学習として学習表現の復習と練習問題を、各1時間ずつ行うこと。

6. その他履修上の注意事項

授業への積極的参加が何より要求されます。質問などがあれば遠慮せず積極的に発言してください。

7. 授業内容

- 【第1回】 授業のプレゼンテーション、本科目で何を学びたいかのヒアリング、過去に学んだスペイン語について各生徒が話す
- 【第2回】 過去の様々な出来事について話し説明する、ある過去の時点で、そのさらに過去に起こった事柄について述べる
- 【第3回】 自分の考えや意見を表現する、あるテーマについて賛成意見、反対意見を述べる
- 【第4回】 SNSについて話す、記事や種々の情報を分析する
- 【第5回】 助言や勧告をする、希望や要求を表現する、依頼や命令をする
- 【第6回】 各国の文化やライフスタイルの相違点を指摘し比較する
- 【第7回】 自分や他人の好みについて表現する、様々な事柄や人物についての情報を頼む
- 【第8回】 などなど、スペインとラテンアメリカの世界遺産都市について話す
- 【第9回】 オラル試験
- 【第10回】 ある事柄につきポジティブまたはネガティブな気持ちを表現する、不平不満を表現する
- 【第11回】 ある状況や事柄についての気持ちや感情(喜び、悲しみ、嫉妬、恐怖など)を表現する
- 【第12回】 同時進行する事柄や行動について表現する、ある事柄の事前や事後に起こる(起こった)ことを表現する
- 【第13回】 種々の情報について分析する、教育と研究に使う専門用語
- 【第14回】 復習
- 【第15回】 理解度の確認